

札幌学院大学

商学部 人文学部 法学部 商学部
 商学科 人間科学科 英語英米文学科 法律学科 商学科
 経済学科

Sapporo Gakuin University

学園広報

1990. 7. 10 No. 46

編集・発行 学校法人 明和学園
 札幌学院大学 庶務課
 〒069 北海道江別市文京台11番地
 電話 (011) 386-8111

平成3年 開設に向け申請 社会情報学部・経済学部の 実現を期す



順調に工事の進むC館・D館

本学園では、昨年来、認可申請中の社会情報学部の設置について、その第二次申請を去る六月三十日、文部大臣へ提出した。

本学園が設置しようとしている社会情報学部は、社会学と情報学・情報処理を結合したこれまでにないユニークな学部であり、入学定員二百名として平成元年七月、申請を行ったところであるが、幸いにして、文部当局はじめ関係機関のご理解を賜り、学生・父母・同窓生・教職員などのご協力・ご支援と、さらには、この学部の開設に多大の関心と期待を寄せられている各方面のご高配・ご厚情を得て、本年一月、第一次審査を無事に通過したものである。

大学の学部設置については、一年目は主として経営面・財務面等から学校法人の実情を調べ、二年目は開講科目・カリキュラムや教員組織等を中心として、二カ年にわたる精細な審査が行われるが、本学が社会学・情報学の両系統から道内外の優れた研究者諸氏をお迎えして構成する教育内容と全学一丸となった熱意によって、第二次審査も難なく円滑にパスすることができると思われ、学園一同、その実現を待望してやまないところである。

全国的にも注目される
 大学の新しい方向として

社会情報学部設置の趣旨は、「社会現象を社会学の立場から捉え、これを情報学に基づいて研究し、社会学と情報学との素養の上に立つて情報社会の広範な諸問題に能動的に対処することが出来る有為な人材を育成すること」とされているが、今日、わが国社会・経済の国際化・情報化が年々とも進展するなか、さらには、高等教育機関における情報系の専門性を身に付けた人材育成が求められている。また、情報化社会における大学の新しい方向を示唆する一つとしても、全国的に注目されており、すでにいくつかの大学からも設置の趣旨等について照会がきているところである。

総合大学への飛躍的拡充
 本道私大で有数の規模に

本学は、昭和四十三年、商学部商学科の単科大学として開学以来、今日までの二十数年間に、経済学科の増設、人

文学部・法学部の設置を図り文科系総合大学への道を歩んできたが、社会情報学部の設置と並行して商学部経済学科の経済学部への改組転換に着手し、平成三年四月からは、道内私立大学で有数の五学部を擁する総合大学へと飛躍的な発展を遂げることとなる。これを契機として、新学部はもとより既設学部の質的な一層の充実向上を図り、名実ともに各界の期待に応える学園の建設に全学挙げて努力を傾注したいと存しており、今後とも皆様方の温かいご支援・ご鞭撻をお願い申し上げる次第である。

国際化の進む中、本学は毎年二十数名の学生を海外研修に送り出してきた。この間、昭和五十八年度から平成元年度までの七回は、すべてカリフォルニア大学・デービス校において研修の機会を設けてきたが、新年度(平成二年度)からは、アメリカ東海岸、マサチューセッツ州ボストンのベントリー大学において、八月二日から二十五日までの日程で学で有名私立大学である。



ベントリー大学のキャンパスは、経験豊かな教員スタッフ

ベントリー大学での授業は、経験豊かな教員スタッフ

ベントリー大学はボストンの中心から車で四十分の小高い丘に位置し、緑豊かな環境に恵まれたキャンパスを持つ会計学で有名私立大学である。

ベントリー大学はボストンの中心から車で四十分の小高い丘に位置し、緑豊かな環境に恵まれたキャンパスを持つ会計学で有名私立大学である。

ベントリー大学はボストンの中心から車で四十分の小高い丘に位置し、緑豊かな環境に恵まれたキャンパスを持つ会計学で有名私立大学である。

ベントリー大学はボストンの中心から車で四十分の小高い丘に位置し、緑豊かな環境に恵まれたキャンパスを持つ会計学で有名私立大学である。

ベントリー大学はボストンの中心から車で四十分の小高い丘に位置し、緑豊かな環境に恵まれたキャンパスを持つ会計学で有名私立大学である。

ベントリー大学はボストンの中心から車で四十分の小高い丘に位置し、緑豊かな環境に恵まれたキャンパスを持つ会計学で有名私立大学である。

8月にボストンで語学研修 ベントリー大学へ 17名の学生を派遣

これは、本学の一般教育における教育カリキュラムの一環として、学生の国際認識を深め英語運用能力の向上を図ること、国際化の一環として学生レベルでの交流を推進することを目的として行われるものである。

ベントリー大学はボストンの中心から車で四十分の小高い丘に位置し、緑豊かな環境に恵まれたキャンパスを持つ会計学で有名私立大学である。

ベントリー大学はボストンの中心から車で四十分の小高い丘に位置し、緑豊かな環境に恵まれたキャンパスを持つ会計学で有名私立大学である。

ベントリー大学はボストンの中心から車で四十分の小高い丘に位置し、緑豊かな環境に恵まれたキャンパスを持つ会計学で有名私立大学である。

ベントリー大学はボストンの中心から車で四十分の小高い丘に位置し、緑豊かな環境に恵まれたキャンパスを持つ会計学で有名私立大学である。

ベントリー大学はボストンの中心から車で四十分の小高い丘に位置し、緑豊かな環境に恵まれたキャンパスを持つ会計学で有名私立大学である。

ベントリー大学はボストンの中心から車で四十分の小高い丘に位置し、緑豊かな環境に恵まれたキャンパスを持つ会計学で有名私立大学である。

ベントリー大学はボストンの中心から車で四十分の小高い丘に位置し、緑豊かな環境に恵まれたキャンパスを持つ会計学で有名私立大学である。

本学での研修始まる

中国遼寧大学の教員四名

中国遼寧大学外国語学部の教員四名が「国際交流基金訪日研修プログラム」の主旨によって、左記の日程で、本学で研修することになった。

第一期 六月二十五日(九月十日) 王凌教授(六十六歳)
 趙徳玉副教授(四十七歳)
 第二期 九月十一日(十一月二十五日) 侯鋭講師(三十五歳)
 曲楓講師(三十二歳女性)

目的は、本学の人文系学部人間科学科において、北方文化人類学、民族学、民俗学の研修をするためであり、具体的には①専門教育関連科目の聴講②北方文化施設の視察③本学教員との研究交流④資料収集等が考えられる。

本学での世話役チームは次

第4回函館市民講座-講演と音楽の夕べ-

- 日時 平成2年9月3日(日) 午後6時開場・6時30分開演
- 会場 函館市民会館小ホール(函館市湯川町1丁目32-1)
- 講演 笹岡 征雄(札幌学院大学人文学部教授) 「女子マラソンと私-楽しいジョギングの効用-」
- 音楽 ピアノとヴァイオリン名曲集 藤井 一興(ピアノ) 大谷 康子(ヴァイオリン)
- ・ヴィヴァルディ 「ソナタ イ長調」
- ・外山 雄三 「組曲 1962」
- ・ショパン 「第4番」
- ・ドボルザーク 「ユーモレスク」
- ・バルトーク 「ルーマニア民族舞曲」

●入場無料(入場整理券は、社会教育課、商工会議所、市民会館、市民会館受付、市内書店、楽器店で8月上旬より取り扱う予定)

第14回学術講演会-講演と音楽の夕べ-

- 日時 平成2年10月5日(日) 午後6時開場・6時30分開演
- 会場 共済ホール(札幌市中央区北4条西1丁目)
- 講演 鶴丸 俊明(札幌学院大学人文学部助教授) 「チンギス・ハーン-その眠りからさめるとき-」
- 音楽 高垣 美加(ピアノ) 石原ゆかり(ヴァイオリン) 土田 英順(チェロ)
- ・ベートーベン 「ピアノ・トリオ第8番 変ロ長調 No.039」
- ・ベートーベン 「ピアノ・トリオ第7番 変ロ長調 作品97“大公”」

●入場無料(入場整理券は市内書店、プレイガイド等で8月下旬より取り扱う予定)

のメンバーである。本間富雄教授(社会心理学) 船津功教授(地域研究) 鶴丸俊明助教授(考古学) 奥田統巳講師(アイヌ語研究)

本学においては、人文学部

開設以来、毎年公開講座「北海道文化論」を開いており、道内の専門家、学内の研究者との協力により、その講義録も版を重ね、関係者の注目を集めてきたが、ここでもまた

新しい国際協力のきっかけが生まれた。

遼寧大学の所在地瀋陽市は中国の東北部に位置し、北緯四十一度四十八分、札幌市とほぼ同じ緯度に属し、人口は五百万人を越え、二千年の歴史を持つ美しい都である。また瀋陽は清朝発祥の土地であり、北京に遷都するまで、皇宮(故宮)があり、市の北部の北陵公園には、太宗ホンタイジの陵墓がある。中に、満語、漢語、蒙古語で書かれた石碑があり、当時の状況を物語っている。

市民の気風は、進取、豪放、積極的、忍耐強く、東北の雄古い都であると共に、現在では中国有数の重工業都市であり、開放経済になってから特に企業経営の刷新、新しいシステム作り、常に全国のモデル地区として、先進的役割を果たしている。

遼寧大学は、学生数一万五千人、教職員数二千人、中文、歴史、哲学、経済、法律、外国語、数学、物理、化学、生物、コンピュータなど十五学部を持つ総合大学であり、民間ベースでの技術交流や、留学生の教育にも熱心である。

今回の遼寧大学教員の研修計画は、本学の教職員学生にも良い刺激となり、大学の活性化におおいに貢献するものと期待される。



研修に備えて英語の特訓を受ける学生たち

教職員紹介

新任者

(教員)
平成二年四月一日付就任

梅澤 利二 教授



自然科学概論(総合講義B)担当

昭和二十五年北海道大学工学部電気工学科卒業

前北見工業大学工学部教授

勝井 義雄 教授



自然科学概論(総合講義C)担当

昭和二十五年北海道大学理学部地質鉱物学科卒業

前北海道大学理学部教授

清水 信介 教授



臨床心理学担当

昭和四十年北海道大学文学部哲学科実験心理学専修科卒業

前室蘭工業大学保健管理センター助教

久保田義弘 助教



教育学概説担当

昭和二十九年東京大学文学部大学院退学

前北海道大学教育学部教授

中川 渡 教授



近代経済学担当

昭和三十五年北海道大学農学部農業経済学科卒業

前北海道立創根農業試験場長

北林 雅志 助教



経営史担当

昭和五十九年中央大学大学院

商学研究科博士課程退学

前北海道北見大学助教

久保田義弘 助教



近代経済学担当

昭和五十六年北海道大学大学院経済学研究科博士課程退学

前北海道教育大学教育学部助教

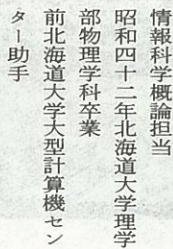
城下 裕二 助教



刑法担当

平成二年北海道大学大学院法学研究科博士課程修了

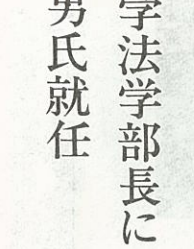
千葉 正喜 助教



情報科学概論担当

昭和四十二年北海道大学理学部物理学科卒業

前北海道大学大型計算機センター助手



奥田 統己 講師



国語表現法担当

平成元年千葉大学大学院文学研究科修士課程修了

OCEAN SONG



英語担当

一九八五年ビクトリア大学卒業

退職者

(教員)

平成二年三月三十一日付退職

小山田 隆 教授

石井 茂 教授

北村 普 教授

中川 鶴太郎 教授

花田 圭介 教授

湯沢 誠 教授

久保田秀明 講師

(職員)

平成二年三月二十日付退職

栗生 春男

平成二年三月三十一日付退職

下川 進

渡邊 涼

札幌学院大学法学部長に 山畠正男氏就任



前法学部長、見澤俊明氏の任期満了に伴い、平成元年十二月二十一日の第十三回法学部教授会において、山畠正男氏が次期法学部長(任期：平成二年四月一日から二年間)に選出され、

四月一日付で就任した。山畠氏は、昭和二十二年東北大学法学部を卒業し、直ちに研究者の道へ進み、昭和二十七年から昭和六十三年まで長らく北海道大学法学部(当初は法経学部)で教鞭をとり、

昭和六十三年より本学の法学部教授として学生の教育に当たっておられる。学園紛争で、大規模な学費の増徴に苦悶した時期には北大の法学部長として手腕を振るわれた。山畠氏は、親族・相続法研究の第一人者として内外にその名を知られ、特に養子法については、日本民法の歴史に残る画期的業績を挙げられている。大学以外でも、家事調停委員や労働委員会委員として社会的活動にも携わり、本年春にはその功績に対して、藍綬褒章が授与された。

熱気に包まれた個別面談

父母懇談会 5会場で開催



熱心に説明を聞く父母(小樽会場)

平成二年度の父母懇談会は、六月十六日留萌市(出席二十五名)、と稚内市(出席二十二名)の両会場を皮切りに翌十七日は旭川市(出席八十四名)で、又、二十三日は小樽市(出席四十一名)において開催された。最終は、十月二十七日の本学会場を最後に、今年度の父母懇談会を終了することになる。

旭川市における懇談会では、庄子邦雄学長から入試・就職及び本学が現在取り組んでいる新設学部の申請等最近の本学の状況が挨拶の中で述べられた。懇談会では、旭川市における懇談会では、庄子邦雄学長から入試・就職及び本学が現在取り組んでいる新設学部の申請等最近の本学の状況が挨拶の中で述べられた。懇談会では、旭川市における懇談会では、庄子邦雄学長から入試・就職及び本学が現在取り組んでいる新設学部の申請等最近の本学の状況が挨拶の中で述べられた。

勲二等瑞宝章受章

本学元教授 小山田 隆氏



本学元教授小山田隆氏には、春の叙勲で勲二等瑞宝章を受章された。小山田氏は、昭和十八年東京帝国大学法学部政治経済学を卒業後、外務省に入省、米国ほか在外公館・本省経済局等の要職を経て、同四十七年からバングラデシュ大使・国際交流基金専務理事・ニュージーランド大使を歴任、同五十八年退官後は民間会社顧問に就任、同六十年本学教授として迎えられ、平成二年三月まで国際法を担当されていた。

このたびの受章を心からお祝い申し上げます。今後のご健勝を願ってやみません。

環境問題を考える

旭川市民講座

恒例となった旭川市民講座(講演と音楽の夕べ)は、六月十五日、美しい山河に恵まれた旭川市の市民文化会館を会場に開催され、約二百八十名の市民が集まった。

講演は、本学の鮫島和子教授が、「足もとから地球を考へる」と題して、今、人類が面している危機、地球規模の環境汚染の問題を取り上げた。氏は、これまでの人間の活動は、人間を中心とした経済優先・使い捨ての文化であり、その結果が今日の環境問題を引き起こしたことを、その反省を込めて、人類も地球の生態系の一員に過ぎないという自覚を持ち、常に環境のことを考え、各人が生活するよう訴えた。

音楽の部は、クラリネット・トロンボーンと銘打って、村松時雄(クラリネット)、土田英順(チェロ)、高垣美加(ピアノ)の三氏が息のあった演奏を披露し、また土田氏のユーモア溢れる解説も加わり、聴衆を大いに魅了した。



講演する鮫島和子教授

学部学科の新設と 財政の安定化に向けて

「平成元年度決算」
「平成二年度予算」

学校法人明和学園の「平成元年度決算」及び「平成二年度予算」が理事会で承認された。その概要は次の通りである。

平成元年度は、本学園における教育研究の充実発展を図るため、新設学部の設置と学部学科の再編の具体的推進を図ってきた。

備の整備による、国庫補助金収入の増などの消費収入増と、諸経費等の節約による消費支出の減により、決算においては一億九千三百萬円の消費収入超過額(黒字)を達成することが出来た。

貸借対照表

■第Ⅱ表 資産の部 (単位:千円)			
	本年度末 (平成元年度末)	前年度末 (昭和63年度末)	増 減
固定資産	9,938,078	9,280,158	657,920
有形固定資産	6,231,441	6,309,362	△ 77,921
その他の固定資産	3,706,637	2,970,796	735,841
流動資産	2,325,409	1,899,825	425,584
資産の部合計	12,263,487	11,179,983	1,083,504
負債の部			
固定負債	2,764,483	2,892,182	△ 127,699
流動負債	804,703	760,732	43,971
小計	3,569,186	3,652,914	△ 83,728
基本金及び消費収支差額の部			
基本金	8,494,136	7,520,847	973,289
消費収支差額	200,165	6,222	193,943
小計	8,694,301	7,527,069	1,167,232
負債の部・基本金及び消費収支差額の部合計	12,263,487	11,179,983	1,083,504

注)減価償却額の合計額 1,591,078
基本金の未組入額 945,010
徴収不能引当金の合計額 3,415

消費収支計算書

■第Ⅰ表 (単位:千円)			
	平成元年度 決算	平成二年度 予算	
学生納付金	2,750,274	2,882,500	
手数料	238,214	250,000	
寄付金	89,437	85,000	
補助金	438,877	376,000	
(内経常補助金)	(429,933)	(365,000)	
収入	3,917,802	4,699,500	
資産運用収入	173,380	120,000	
資産売却差額	119,388	140,000	
事業収入	10,338	12,000	
雑収入	18,000	9,500	
繰越収入合計	3,837,908	3,875,000	
基本金組入額合計	△ 973,289	△ 878,445	
消費収入の部合計	2,864,619	2,996,555	
人件費	1,654,552	1,808,800	
(内退職給付引当金繰入額)	(69,361)	(72,300)	
教育研究経費	700,288	811,355	
(内減価償却額)	(244,465)	(248,800)	
管理経費	166,750	182,000	
(内減価償却額)	(3,136)	(3,300)	
借入金等利息	137,634	125,366	
資産処分差額	9,077	11,000	
徴収不能引当金繰入額	2,375	1,000	
予備	-	57,000	
消費支出の部合計	2,670,676	2,996,521	
消費収入超過額(黒字)又は消費支出超過額(赤字)(7-1)	193,943	34	
翌年度繰越消費収入超過額	200,165	200,199	

学園は、教育研究環境の整備充実について、将来展望を見定め学内外の諸情勢の変化も認識しながら、特に十八歳

【Ⅰ】教育施設整備の整備
①LIL教育装置の更新整備
②視聴覚機器の増設
③情報処理教育用機器の整備
④学生食堂の補修整備
【Ⅱ】収支決算の概要
消費収支決算の概要は第Ⅰ表のとおりである。

過熱する'90就職戦線

本学への求人要請さらに高まる



東京での企業と大学との懇談会

平成2年度の就職戦線は、スタートから異常な展開を見せている。今年度は、年初からのトリプル安で景気に不透明感が漂い始めているものの、前年度の積み残しを含め人手不足はさらに深刻さを増しており、「超売り市場」といわれた前年度をさらに上回る強い求人要請が連日、就職課に寄せられている。

六月末での求人票は、二千件を超え、過去最高の前年同期の千二百件を大きく上回り、また就職課への来訪者も五月連休明けから連日二十社を超え、企業の求人活動のテンポの早さと本学への強い求人要請が目につく。また、就職協定(八月二

十日会社説明会、会社訪問解禁をしり目に四月下旬から札幌市内では企業や就職情報会社主催の企業セミナーが数多く開かれており、就職課の掲示板にはその案内ポスターが溢れている。

こうした企業セミナーは、特に五月連休明け開催のものについては実質的に選考を伴ったものとして行われ、五月下旬から内定の声も出始めている。本学でも、全体ガイダンスやセミナー別ガイダンス等に加え、企業の強い要望に応えて学生の企業研究の一助として六月初旬より約百四十社参加の「業界研究会」を実施している。この「業界研究会」は七月中旬まで予定しているが、昨年度この研究会に参加して以後の内定に結びついた学生は数多くおり、今年度もその成果が大いに期待できる。

一方、東京で四日、札幌で十日目を迎えた「企業と大学との就職懇談会」は、同窓会の協力のもとそれぞれ六月一日、二日に開催された。

両会場とも、企業の本学へのますますの期待を反映して例年を上回る百二十社の企業が参加された。東京では人文系の澤田幸展教授、札幌では商学部の勝井義雄教授の講演の後、立食パーティーに移り、パーティーでは荘子邦雄学長を始めとして大学の参加者もともに長蛇の列が出来るほど企業の挨拶が続き、企業側の採用意欲の高まりとこの懇談会が企業の中に入り定着したことが感じられた。

このように今年度もまた学生にとりて恵まれた就職戦線ではあるが、狙いの本命を手中にするためには、「超売り市場」に安易に感ぜられることなく、じっくりと目標を見据え自信をもって活動することが必要であろう。

また本学としても、この好機を捉えて企業との連携を一層強化して、学生の就職分野の質的向上、拡大を図ることが、将来にとって極めて重要なこととなる。

道外の志願者急増

全国的に「文高理低」の現象続く

平成2年度 入学試験結果

平成2年度の全国的な入試状況としては、十一年間続いた共通一次試験が廃止になり、大学入試センター試験が導入され、進学率の増加とともに十八歳人口のピークを迎えるため、私立大学の入試戦線にも様々な混迷が展開された年といえる。

この入試分析は、文部省の基本統計が発表されるとともに正確に把握されるだろうが、最近の受験雑誌等の統計と解説を参考にすると次のことがいえる。

私立大学の総志願者数は全国的に八%強の伸びであった。これを地域別に見てみると興味深い統計がある。それは、北海道の伸びが前年比を三七%上回り、四万人弱の志願者になったことである。東北、中国、四国、九州の各地域においても二〇%台を記録しているもの北海道の伸びには及ばない状況である。これに対し、特に東京圏の伸びが四%台と低く、この傾向は大都市圏に共通しているようである。

このため、平成2年度の特徴の第一としては、地方私大

の「全国型」傾向がみられたことであろう。この点、本学においても、道外の志願者全体の三二%で三千名に達した。前年度との対比では六八%の増加である。そして、全体の志願者では一万名に一步及ばなかったものの九千三百二十四名を募り、昨年比では五%増加という結果であった。次の特徴点としては、全国的に「文高理低」の現象が一層進行した点である。このため、法・経済・商学系のレベルアップが目立った年度と思われる。

平成2年度 入学試験結果

試験区分	学 科 名	志 願 者	受 験 者	合 格 者	入 学 者	競 争 率
試験入学	商学科	2,425 (73)	2,335 (70)	290 (16)	153 (9)	8.1
	経済学科	2,471 (86)	2,411 (84)	354 (22)	161 (8)	6.8
	人間科学科	856 (217)	833 (213)	188 (70)	101 (36)	4.4
	英語英米文学科	332 (75)	321 (74)	94 (32)	48 (14)	3.4
	法律学科	1,781 (74)	1,733 (72)	280 (14)	124 (5)	6.2
	二部商学科(一期)	369 (4)	356 (4)	58 (1)	38 (0)	6.1
	二部商学科(二期)	202 (9)	190 (7)	13 (2)	12 (1)	14.6
推薦入学	商学科	273 (5)	270 (5)	165 (4)	164 (4)	1.6
	経済学科	237 (8)	235 (8)	130 (6)	125 (5)	1.8
	人間科学科	142 (35)	142 (35)	56 (16)	56 (16)	2.5
	英語英米文学科	52 (15)	52 (15)	32 (10)	32 (10)	1.6
	法律学科	113 (6)	111 (6)	96 (6)	96 (6)	1.2
	二部商学科	69 (5)	68 (5)	68 (5)	67 (5)	1.0
	計					
総計	商学科	2,698 (78)	2,605 (75)	455 (20)	317 (13)	-
	経済学科	2,708 (94)	2,646 (92)	484 (28)	286 (13)	-
	人間科学科	998 (252)	975 (248)	244 (86)	157 (52)	-
	英語英米文学科	384 (90)	373 (89)	126 (42)	80 (24)	-
	法律学科	1,894 (80)	1,844 (78)	376 (20)	220 (11)	-
	二部商学科	640 (18)	614 (16)	139 (8)	117 (6)	-
	計	9,322 (612)	9,057 (598)	1,824 (204)	1,177 (119)	-

● 社会人入学試験状況				● 外国人留学生入学試験状況			
学 科	志願者	受験者	合格者	学 科	志願者	受験者	合格者
人間科学科	1	1	0	経済学科	1	1	1

① () 内は女子の内数
② 競争率 (受験者÷合格者)

平成3年度 入学試験日程

学部	学 科	出願期間	試験日	試験場	合格発表
法学部	法律学科	1月10日(木)	2月8日(金)	本学 東京 青森 大	2月23日(土)
	商学部第二部商学科(第一期試験)				
	商学部第一部経済学科				
	人文学部人間科学科				
商学部	第一部商学科	1月25日(金)	2月9日(土)	本学	3月19日(木)
	人文学部英語英米文学科				
商学部	第二部商学科	3月4日(月)	3月18日(月)	本学	3月19日(木)
	第二部商学科(第二期試験)	3月13日(木)			

学部	学 科	出願期間	試験日	試験場	合格発表
商学部	第一部商学科	11月7日(木)	12月5日(木)	本学 東京 青森	12月15日(土)
	法学部法律学科				
	商学部第一部経済学科				
	人文学部人間科学科				
人文学部	英語英米文学科	11月20日(木)	12月6日(木)	本学	12月15日(土)
	商学部第二部商学科				

学部	学 科	出願期間	試験日	試験場	合格発表
人文学部	人間科学科	11月7日(木)	12月6日(木)	本学 東京 青森	12月15日(土)
	商学部第二部商学科	11月20日(木)			

OB通信

新菱冷熱工業(株)総務部総務課
竹内信一郎さん
(平成2年法学部法律学科卒)

入社式で宣誓する竹内さん

四年の諸君、就職戦線の真ただ中、大いに健闘されていることと思います。昨今の頃のことか夢のように思い出されます。

私は一ヶ月間の新入社員研修を終えて、総務部・総務課に配属され、東京都保谷市にある研修寮より新保谷市に通う毎日です。

入社式の時百八十人の代表で宣誓の言葉を述べさせられ、改めて社会人としての認識を強くしたものであります。

現在の仕事は、沢山の郵便物の受発信・帳簿の在庫管理発注業務等です。多くの先輩達に教えを受けながら早く職場になれたと考えています。

大気汚染が問題とされる今、都市の建築物の冷暖房に快適さと共に安全性が求められています。その理想環境づくりの為に、研究と努力を惜しまない経営理念のもとに、私も働ける喜びを感じながら一生懸命頑張りたいと思っています。

『アイヌ文化に学ぶ』 刊行される

公刊講座「北海道文化論」の講義録である『アイヌ文化に学ぶ』が刊行された。この書籍は毎年シリーズとして発行され第八巻となるが、今回はアイヌ文化に関する内容であり、早くから注目され好評を博している。また口演録音のカムイノミ等のテープが同時に発売されている。

アイヌ文化に学ぶ

講義用テキストに再生紙利用

総合講義A(環境論)の講義用テキストである『環境科学事典』(環境科学研究会編集)が、四月の増版から再生紙を使用した。

これは、環境問題を取り上げる講義にふさわしいテキストにするため、エコマーク(注・環境庁が考案した環境保全に役立つ商品の推奨マーク)入りのテキスト使用は全国でも初めてであり、注目されている。

札幌学院大学選書第2号

8月末刊行予定

昨年度の創刊号に続く札幌学院大学選書第二号は、八月末に刊行される予定である。今年度は、若手研究者伊藤

知義法工学部助教授による「ユゴスラビア取引法における自主管理協定と契約」という著作物で、揺れ動く東欧の内部の一部を垣間みることでできるタイムリーな研究書となっている。

公開講座 北海道文化論

(テーマ) 「北海道の村おこし町おこし文化論」

日時: 9月3日(月)~9月8日(土) 13:10~16:20
場所: 本学視聴覚室(B館1階)

今年度は「北海道の村おこし町おこし文化論」をテーマとして道内各地で様々な取り組みがなされている、地域活性化運動を取り上げる。一村一品運動に代表される特産品作りは、単に人々の暮らしを支える産業振興であるということに限らず、それを作り出す人々の能力創造を伴う活動であり、人々の生活を支える新しい価値観を育むという可能性も持っている。新しい「物」や「人」や「心」をつくり出して行く力は、いかにして地域で育まれるか。北海道の先進的事例に学びつつ、新しい生活文化の創造の可能性と、今、人々が「地域で暮らす」こととはどんなことなのか、その意味を考える。

● 9月3日(月)	廣江 彰 (札幌学院大学商学部助教授)
● 9月4日(火)	大石 和也 (池田町助役)
● 9月5日(水)	澤田 正春 (置戸町教育長)
● 9月6日(木)	桑原 義彦 (匠工芸社長)
● 9月7日(金)	佐藤 明 (北海道新聞論説委員)
● 9月8日(土)	森山軍治郎 (美唄専修短期大学教授)



春季リーグ (小樽商科大学戦)

硬式野球部 札幌地区一部リーグ ゆきを決める

昨年の秋季リーグ戦において、惜しくも一部の座を失った硬式野球部は、この春、二部リーグからのスタートとなった。春季リーグは初日から好調な足となり、前半二連勝のあと、北海道大学との対戦で一敗し、その後二勝して結局四勝一敗で今季リーグを終えた。これによってリーグ成績では北海道大学と同率首位となり、秋の札幌地区の一部リーグゆきを決めた。

北海道大学野球はこの秋からリーグが札幌地区とそれ以外の地域に分割されることになっており、札幌リーグにおける活躍に期待したい。

今年も早春から設備の整った射場で練習に励んでいた洋弓部は、この五月に北海道学生アーチェリー王座決定戦に臨んだ。

団体戦では男子が今回惜しくも優勝を逃し、三年連続の



北海道学生アーチェリー王座決定戦

洋弓部 全国学生アーチェリー 東日本大会に出場

V達成はならなかった。しかし個人戦においては各人が善戦し、六名が入賞し、全国学生アーチェリー東日本大会に出場を果たした。この後も秋に向けて、大会が控えており、ここでの活躍に期待したい。



春季全道学生軟式庭球大会

軟式庭球部 全道選手権に向け猛練習中

軟式庭球部は、今年も全道の首位を狙い、日々特訓を重ね、五月、春季の全道大会に臨んだ。大学対抗決勝で北海道工業大学との勝負となり、あと一步のところ優勝を逃してしまい、全道大会への出場を果たせなかった。

しかし、部員達は、この春の反省の上に、目下全道選手権に向け猛練習に取り組んでいる。なんと今度もこの大会で勝利し、夏の全国インカレ戦の出場を果たしたいという意気込みである。今後ぜひとも期待をかけた。

羽球部は昨年、東日本選手権や全国インカレ出場を果たし健闘したが、今年も春季のリーグ戦において三位となり、全国インカレ戦への出場を決めた。部としては、このシーズンに際し、春休みを利用して強化合宿などを行い、調子を上げてきた。また四月には、新入部員を多数迎え、戦力アップを狙ってきたところである。今後も全国インカレはもちろん各種大会での健闘を祈りたい。

羽球部 全国インカレ 戦へ出場

— 今回の海外研修を通して、フランスになったこと、自分が変わったなと思う点などありました。

菅原 自分がいかに他人まかせに生きてきたかを痛感しました。アメリカでの生活は、言葉は通じないし、習慣や文化も違うし、とにかく自分で行動をおこさなきゃならない。日本人だと



横林智恵子さん (人文学部人間科学科3年)

人からいわれて初めて「それじゃやるかな」という感じですが、アメリカ人は自分から何かをやるとうします。その点、自分にも積極性が出てきたな、って感じがします。

横林 私は、将来もし観光に関する仕事に就いたら、例えば北海道に外国人を受け入れるにはどうしたいか、そういう視点でものを考えるようになりました。今まで自分と日本というふうに考えていたんですが、自分と世界というか、広いところへ目を向けられるようになりました。

佐藤 僕も言葉の問題が一番大きかったですね。やはりアメリカは多民族国家ですし、日本みたいにはっきりいわずとも察してくれる、ということはありません。言葉交流さないと相手に通じないんです。



ヨセミテにて (右端が佐藤くん)

▲サクラメントにて (右端が菅原さん)

海外研修 UC DAVIS 広がる国際交流

すね。それから、ホストファミリーと喋っていて、発音が悪いか、通じないことがしばしばありました。もっと勉強してくればよかったなあって思いましたね。

— 印象に残っていることを。

横林 私はむこうで二十歳の誕生日を迎えたんですが、学校では先生がケーキを焼いて祝ってくれました。家に帰るとプレゼントをもらったし、とても嬉しかったです。記念になりました。

菅原 カリフォルニアは雨が少ないせいか、水を大事にしているのを感じました。お皿を洗う場合でも、ちょっとゆすいでからすすぐ。ディッシュウォッシャーの中に入れてしまってます。そして何日かためていっしょに洗ってました。シャワーも短時間で済ませるようにいわれました。

佐藤 高校の音楽の授業を見学したんですが、ミュージカルの練習をしているんです。みんな歌って踊って。すごく感動しました。とても高校

生に見えないし、それに授業であんなに楽しいことをできるのって素晴らしいと思えました。

— 意外だったことは？

佐藤 買物に行ってもアメリカ製のものを捜すのにひと苦労。

菅原 そう。陶器なんかはみんな日本のものでしたね。

横林 Tシャツやトレーナーでさえ、アジアで作ったものが多かった。あれだけ広い土地があるんだから、アメリカに工場を作ったほうが安いんじゃないかなって思ったけど、菅原 アジアの人情費がいかに安いかってことなんですよ。ローザセルズではホームレスの人たちを見たら、三十代、四十代の働き盛りの人が崩れかけた壁の前でたき火をしてるんです。



佐藤 淳一くん (法学部法律学科3年)

ホストファミリーとのフェアウェルパーティー

横林 やは、全然知らない土地へ行くわけですから、今までの自分の殻に閉じこもるのではなく、自分の知らない面を知ろうとして行動したほうがいいと思います。

— アメリカの色々な面を見ることができたわけですね。最後にこれから海外研修へ行こうと思う学生たちにアドバイスを。

横林 ショックでした。

菅原 洋子さん (人文学部英語英文学専攻3年)



菅原 洋子さん (人文学部英語英文学専攻3年)

一年間、イギリスで、ロンドン大学歴史研究所の所属という形で、勉強をさせていただきました。

行く前も行ってからも、英語の会話力の向上のための勉強にずいぶん時間を費やしたのですが、どうも先天的素質に問題があるようで、最低限



ウォルサムストウのバス停にて

私の車のそれには、ランド・オブ・リンカーンと書いてあった。私が海外研修の為家族と共に訪れた地は、アメリカンカーンである。

リンカーンは、イリノイ州議会議員、州都スプリングフィールドで弁護士、連邦下院議員として第十六代大統領として法律及び政治の分野で活躍した。彼は政治家としてイリノイ州内を訪問し演説を行なっているが、その史跡が数多く残っている。特に、スプリングフィールドには、彼の自宅、法律事務所、旧州議事堂としてお墓なども保存されている。

ところで私達の住んでいたアナバ市から車で三十分位走ると、

度の日常会話しかなく、ロンドン大学歴史研究所の所属という形で、勉強をさせていただきました。

行く前も行ってからも、英語の会話力の向上のための勉強にずいぶん時間を費やしたのですが、どうも先天的素質に問題があるようで、最低限

一年間、イギリスで、ロンドン大学歴史研究所の所属という形で、勉強をさせていただきました。

行く前も行ってからも、英語の会話力の向上のための勉強にずいぶん時間を費やしたのですが、どうも先天的素質に問題があるようで、最低限

国外留研報告

と共訪れた地は、アメリカンカーンである。

リンカーンは、イリノイ州議会議員、州都スプリングフィールドで弁護士、連邦下院議員として第十六代大統領として法律及び政治の分野で活躍した。彼は政治家としてイリノイ州内を訪問し演説を行なっているが、その史跡が数多く残っている。特に、スプリングフィールドには、彼の自宅、法律事務所、旧州議事堂としてお墓なども保存されている。

ところで私達の住んでいたアナバ市から車で三十分位走ると、

りました。

ロンドンで経済学系の資料が一番そろっているのはLSEの大学で、そこを最も多く利用させていただきました。

ただ、イギリスで出ている経済学関係の資料で、たとえば最近四十年分というように限定しても、必ずしも大学の図書館にきちんとそろえられているわけではなく、結構さがしにくいのに、案外な思いをしたことがあります。また、ぼくのみた範囲での大学の図書館は、どこも学生の利用状況がさかんで、夏休みのような場合は、コピーを作るのに行列がある場合がありました。

一年間は短かった、という気持ちはいま強くあります。が、それでも、これからのぼくの勉強を、視野を広げて進めて行くのに、たいへん役に立ったと思っております。これからの研究発表を通じて、それを少しでもあきらかにして行くつもりです。

多く、とくに試験期間だけというわけではないので、それが一番、うらやましい、と思ったところです。ぼくの専門分野から、少し手を広げた範囲で、イギリスを中心に、アメリカや大陸との関係も含めた、勉強をしてきて、相当程度の資料も持ち帰ることができました。

イギリスという現地での生活で、イギリス人の個々の生活や集会への出席や文化遺産の見学や、またテレビや新聞などを通じて、イギリスの経済学の基礎にあるイギリス人の生活や発想の姿勢を、いくらかは感じられるようになりました。

一年間は短かった、という気持ちは、いま強くあります。が、それでも、これからのぼくの勉強を、視野を広げて進めて行くのに、たいへん役に立ったと思っております。これからの研究発表を通じて、それを少しでもあきらかにして行くつもりです。

ランド・オブ・リンカーン



イリノイ州議事堂

商業部教授 坂下 紀彦

ロンドン大学での一年

商業部教授 平石 修

このようにイリノイ州の人達は、自分達の州や歴史に誇りを持ち、このような行事を通じてその誇りを確かめるのである。